

2018 12/24 [月] - 2019 4/27 [土]

家具、遊具、器、筆記具、楽器、住宅、そして食料品…。「竹」は様々に加工され、私たちの日常に潜んでいます。あまりに馴染み深い素材である「竹」に、鑑賞物としての価値を見いだしたのが「竹人形」かもしれません。しかし、創作竹人形師・西岡秀規(にしおか ひでのり)氏の作品には「人形」の範疇に留まらない、「こと」や「もの」の織り成す情景がいきいきと表現されています。くつろぐ人、人力車に乗る二人、モーターバイク等。「阿波踊り人形」が処女作であった西岡氏も「人形から離れて、作るものが広がった」と語ります。2018年 第46回 全国公募 徳島県手工芸展で「文部科学大臣賞」受賞の「楽しい農作業」をはじめ氏の卓越した技術が生んだ竹の物語をご覧ください。

主催: 徳島大学病院 協力: 武蔵野美術大学基礎デザイン学科  
監修: 武蔵野美術大学 基礎デザイン学科教授・板東孝明  
第30回を迎える今回は、武蔵野美術大学の監修により、徳島で活躍する地元作家の作品展とさせていただきます。

Hospital  
Gallery

be

ホスピタル ギャラリー [ビ・イ]  
徳島大学病院 西病棟1階ロビー

# 竹の物語

西岡秀規  
竹細工の世界

